

新型コロナウイルス感染長期化に対峙する札幌の文化芸術関係者 の活動再開への道を探るアンケート調査

第1章 影響と損失

現在、新型コロナウイルス感染拡大のために、日本各地で様々な活動が自粛を要請されています。文化芸術活動も例外ではありません。長期間にわたる深刻な影響が広がっていることに総合的な施策の緊急性を感じています。

本アンケート調査によって、札幌市内・近郊を中心に広範囲の文化芸術活動に関わっている「個人」や「団体・事業所」（文化芸術団体・文化施設・イベント会社など）が新型コロナウイルス感染の拡大とその防止対策にどれほど厳しい影響を受けているかを把握します。

本調査は、札幌市内・近郊で文化芸術分野に関わる民間有志の協力によって、自発的に計画され実施されるものです。この調査の集計・分析結果が、多様な活動の支援設計の基礎資料として、特に支援や活動促進を担う自治体、団体、そして調査にご協力くださる皆さまに即時的に活用されることを望んでいます。

一方で、各分野に関わる人々・団体は様々な条件、環境、事情の中で個別具体的な文化芸術活動を営んでいます。活動主体の地域的特色をつかみ、的確かつ長期的な解決策や支援策を導き出すためには、各分野における活動実態を可視化する「活動実態調査」が必須であると考えています。

本調査は日本国内の複数都市（福岡、京都市等）の同様の調査活動と連携しており、共通の調査項目を設けて、結果を共有する予定です。なお、調査結果は、「北海道教育大学岩見沢校」のウェブサイトで公開致します。

●調査の基本軸

1. 文化芸術活動の基本情報、
2. 新型コロナウイルス感染拡大による影響
3. 要望や実情の自由記述

●期間：2020年5月19日（火）～29日（金）23：59

●調査対象：【個人用】

文化芸術の

- ①直接的な表現者及び、それを支える人々（プロデューサー、テクニカルスタッフ、コーディネーター等）、施設（劇場、ギャラリー、ライブハウス等）で働く方々など幅広い文化芸術の担い手
- ②文化芸術のサークル、愛好会、ボランティア等に参加している方
- ③居住地、または活動地、いずれかが札幌市内・近郊に該当する方

●アンケート

【個人用】 <https://jp.surveymonkey.com/r/2T6XKSF>

【事業所・団体用】 <https://jp.surveymonkey.com/r/2BKJ8TN>

【調査主体】

- ・ 関 鎮京（北海道教育大学 岩見沢校 芸術文化政策研究室 准教授）
- ・ 小田井 真美（AIR 事業設計、さっぽろ天神山アートスタジオ AIR ディレクター）

●お問い合わせ 北海道教育大学岩見沢校 関(みん) min.jinkyung@i.hokkyodai.ac.jp